

平成23年度 事業報告（概 要）

社会福祉法人 四万十市社会福祉協議会

平成23年3月11日に発生した、東北太平洋を震源とする日本観測史上最大の巨大地震とそれに伴う大津波によって、東日本各地では甚大な被害が発生し、被災地においては災害ボランティアセンターの設置や全国からのボランティアによる支援活動が行われました。被害が甚大であることから復旧・復興において全国の市区町村社会福祉協議会が一体となって被災地支援の取り組みを行い、本会においても3名の職員が被災地である宮城県東松島市に災害ボランティアセンターの運営支援等として職員を派遣しました。このよう状況の中、人々が地域において共に支え合う、地域社会を基盤とした福祉の重要性が益々大きくなっております。また、昨今の社会経済の状況の変化に伴い、失業や低所得者による生活困難を抱える方が増大し、日常生活の維持の困難さが複雑かつ多様になり、関係機関と連携しながら様々な課題を抱えた方への支援が必要となっております。

現況は、社会福祉協議会を取り巻く環境は厳しい状況にありますが、多様な福祉課題の解決に取り組み、住民の地域福祉に対する期待に応え、また、社会福祉協議会がその特性を活かし、公共性と非営利性を担保し、かつ事業の継続性と安定性を確保する取り組みを行ってきました。

本市を取り巻く環境は、全国的な現況より更に少子高齢化や核家族化、地域の相互扶助機能の衰弱化、さらには人口減少が進行し、これまでの生活基盤の崩壊が危惧されています。このように福祉課題が多様化、重層化する中で本会では、平成23年3月に策定した「四万十市地域福祉活動計画」に基づき「人と人がつながる笑顔あふれる四万十市」の実現に向けて、地域住民や関係機関と連携しながら、地域福祉の推進に取り組みました。

以下、平成23年度の事業計画の重点目標にあげた5点の推進概要について報告します。

重点目標

- ① 地域福祉の推進
- ② 総合的な相談・援助活動の整備
- ③ ボランティアセンター等の充実と福祉教育の推進
- ④ 介護保険事業等在宅福祉サービスの整備・検討
- ⑤ 住民参加による福祉のまちづくりの実現の取り組みと組織の基盤整備

①地域福祉の推進

地区社協の設立及び支援(法人運営・共同募金配分金事業経理区分)

《 会費収入 55,400円 共同募金 234,000円 市補助金 75,000円 決算額 364,400円 》

各地域において住民による主体的な福祉活動を展開し相互の助け合いにより安心して住める地域づくりを推進し、各地域においても工夫をこらし行事を行う。職員も行事等の参加や学習会の支援を行った。

平成13年度から地域の支え合いを目的に取り組んできた事業だが、平成24年度からは健康福祉地域推進事業として市の新たな事業が始まるにあたり、各地区社協に出向き事業説明や今後の取り組みについて説明を行った。結果として発展的解消ということで、地区社協の名称は変更になるものの、健康福祉委員会として事業を継続していく地区もあり、引き続き支援を行う予定である。

地区名	会員数 (人)	活動内容
伊才原	40	舞ノ森登山(植樹等)、七夕まつり、餅つきとミニ運動会、独居老人宅への草刈り、老人クラブやふれあい談話室との交流等々
竹屋敷	74	敬老会、地区運動会、ふれあい談話室への支援、年末に高齢者への配食、高齢やひとり家族への声かけ(役員)等々
佐田	66	ゲートボール、民踊練習(生涯学習)、保健師指導血圧測定、とまろっと日帰り旅行、納涼祭、カラオケ大会、紫陽花・紅葉狩り、忘年会等々
古津賀第2団地	110	春・秋ウォーキング、学習会、夏休み子どもクラブ(焼き物、ちぎり絵)、干支絵画教室、いきいき体操、昼間のカラオケ、卓球、社協通信・支えあいマップ作成、市行事への参加等々
かつら山	19	花見・紅葉狩り、見守り訪問、忘年会、体操等々
東富山	89	転倒・認知症予防学習会、文化展、敬老会への参加、プルタブや古切手集め、グラウンドゴルフ等々
口鴨川	34	口鴨川モーニング、夏まつり、保健師との介護学習会、ゴキブリだんご作り、4月～11月までラジオ体操、花見、みんなが先生事業、敬老会に協賛等々
名鹿	42	健康教室(筋力)、ゴキブリだんご作りと配布、環境整備(草刈り)、子ども会と合同でのゴミ拾い、花見、餅つき、高齢者への折詰弁当の配布等々
井沢団地	52	年2回1日旅行(バス使用)、食事会、敬老会参加、秋の文化展、お茶・お食事会等々
奥鴨川	-	休会中(平成19年度より)
古津賀第1団地	-	休会中(平成22年度より)

①地域福祉の推進

福祉活動の推進(法人運営及び共同募金配分金経理区分)

《福祉活動費 受託金収入 1,055,000円 会費収入 130,000円 決算額 1,185,000円》

《福祉活動事業 会費収入 33,000円 共同募金配分金 380,000円 決算額 413,000円》

市からの委託事業として「ふれあい談話室」と「介護予防教室」を実施した。可能な限り地域に入り住民と共に話し、悩み、解決に向けて行動していった。

次に13の生きがい教室を実施した。その内5つは介護予防教室の中で展開した。社協が生きがい教室を実施することで、人と人をつなげ、尚且つ健康づくりにつながり、高齢者だけでなく、中年層の参加も増えた。

今年度特に力を入れて取り組んだものは、「障害者の生きがいと健康づくり支援事業」であり、聴覚障害者への理解を深めるための要約筆記体験学習、生きがいとしての書道教室、精神障害者のためのSST研修、幡多クリーンセンターへの研修等、障害の部位や年齢などに関係なく多くの参加者を得て実施できたことは今年度の大きな成果と感ずる。

11月開催の社会福祉大会では詩人であり、また認知症の母を介護した経験をもつ藤川幸之助先生の講演に530名余りの参加者が感銘を受けた。「福祉」を考え、感じ、ふれあい、32回の歴史を持つこの大会は今年もまた大きな役割を果たした。

地域の中には引きこもりのため生活苦や病気等で苦しんでいる人や社会に適応できず仕事に就いてもうまくいかない若者、ごみをうまく処理できない高齢者の悩み等々訪問活動もしながら相談を受け続けた。対応に苦慮するケースも増えており、地域包括支援センターや民生児童委員等と連携しながら解決に向けて活動した。

あったかふれあいセンター「ぴーす」や「いちいの郷」とも常に関わりながら事業を進め、社協にとっても力強い存在であり、これからも協力体制を密にしてやっていきたい。

・サークル等支援

要約筆記サークル「赤とんぼ」

西土佐地域グラウンドゴルフ愛好会

西土佐地域ゲートボール愛好会

パソコンサークル「あじさい」 24時間テレビ募金活動

・ボランティア活動団体支援

JA「こだま会」「やすらぎの会」

・ボランティア連絡協議会 10グループ加入

・遊々サロン協力 16地区

事業名	内 容				
	教室名	場所	回数	人数	講師・指導者
生きがい教室	男の料理教室	保健センター	12	102名	山口功
	謡曲教室	総合福祉センター	12	96名	岡山良治
	3 B 体操	ふれあいホール他	介護予防へ		高木淳子
	秋桜クラブ	ふれあいホール	13	201名	篠田順子
	手作りおやつ	保健センター	11	88名	谷岡仁美
	手話	総合福祉センター	12	42名	川村泉
	和太鼓	ふれあいホール	24	102名	篠田義男
	編物	総合福祉センター	11	79名	川村泉
	手芸	口屋内サテライト	12	132名	田邊喜久子
	ふれあい体操	口屋内サテライト他	介護予防へ		今城久枝
	俳句	総合福祉センター			講師 山本いはほ
	短歌	総合福祉センター			講師 植田 馨
	川柳	総合福祉センター			講師 小笠原望
小 計			107	842名	
障害者の生きがいと健康づくり支援事業	SST研修	総合福祉センター	3	34名	
	書道	総合福祉センター	22	291名	
	一日研修	高知市、土佐清水市 他	5	97名	
	要約筆記体験	総合福祉センター	2	26名	
介護予防教室	介護予防教室	各地域集会所等	80	1,157名	
ふれあい談話室	お茶のみ会・喫茶	各集会所等	52	603名	
県民介護講座	基礎・テーマ別講座	総合福祉センター	2	41名	
防災学習	防災頭巾講習会	津野川小学校	1	7名	
社会福祉大会	社会福祉大会	ふれあいホール	1	530名	
小 計			168	2,786名	
合 計			275	3,628名	

①地域福祉の推進

①地域福祉の推進

法人運営(法人運営経理区分)

西土佐支所において、従来行ってきた事業及び各種団体事務等の会議等の状況は以下のとおりである。

平成23年度

月	日	曜	開催名称	場所	人数
4	6	水	やすらぎの会役員会	総合福祉センター	5
	25	月	やすらぎの会総会	総合福祉センター	16
5	6	金	西土佐中・和太鼓指導	ふれあいホール	22
	20	月	西土佐中・和太鼓指導	ふれあいホール	22
			要約筆記サークル赤とんぼ総会	総合福祉センター	7
	23	月	西土佐ボランティア連絡協議会総会	総合福祉センター	9
	27	金	西土佐中・和太鼓指導	ふれあいホール	22
6	3	金	西土佐中・和太鼓指導	ふれあいホール	22
			やすらぎの会役員会	総合福祉センター	4
	4	土	パソコンサークル総会	総合福祉センター	8
	10	金	西土佐中・和太鼓指導	ふれあいホール	22
	17	金	津野川小学校防災頭巾講習	津野川小学校	7
			西土佐中・和太鼓指導	ふれあいホール	22
			大阪大学との打ち合わせ会	総合福祉センター	3
24	金	西土佐中・和太鼓指導	ふれあいホール	22	
7	1	金	西土佐中・和太鼓指導	ふれあいホール	22
	8	金	西土佐中・和太鼓指導	ふれあいホール	22
	15	金	西土佐中・和太鼓指導	ふれあいホール	22
	16	土	方言調査	いちいの郷	12
	28	木	福祉大会実行委員会	総合福祉センター	9
8	2	火	ヘルパー2級講師	西土佐分校	1
	11	木	24時間テレビ実行委員会	かわせみ	1
9	16	金	西土佐中・和太鼓指導	ふれあいホール	22
	21	水	西土佐中・和太鼓指導	ふれあいホール	22
	22	木	西土佐地域人権フェスティバル実行委員会	ふれあいホール	1
	30	金	西土佐中・和太鼓指導	ふれあいホール	22

月	日	曜	開催名称	場所	人数
10	12	水	西土佐中・和太鼓指導	ふれあいホール	22
	18	火	西土佐地域人権フェスティバル実行委員会	ふれあいホール	1
	21	金	西土佐中・和太鼓指導	ふれあいホール	22
			西土佐中・和太鼓指導	ふれあいホール	22
	30	日	西土佐地域人権フェスティバル	ふれあいホール	1
11	1	火	西土佐中・和太鼓指導	ふれあいホール	22
	8	火	西土佐中・和太鼓指導	ふれあいホール	22
	9	水	日本福祉大学ヒアリング	総合福祉センター	1
			第32回西土佐地域社会福祉大会	ふれあいホール	530
1	20	金	西土佐中・和太鼓指導	ふれあいホール	22
	25	水	いちいの郷運営推進会議	いちいの郷	1
	27	金	西土佐中・和太鼓指導	ふれあいホール	22
2	3	金	西土佐中・和太鼓指導	ふれあいホール	22
	24	金	西土佐中・和太鼓指導	ふれあいホール	22
			開かれた学校づくり推進委員会	西土佐中学校	1
				合計	1,124

中村地域配食サービス事業 (共同募金配分金経理区分)

〈パート1名 調理ボランティア10名 配食ボランティア15名〉

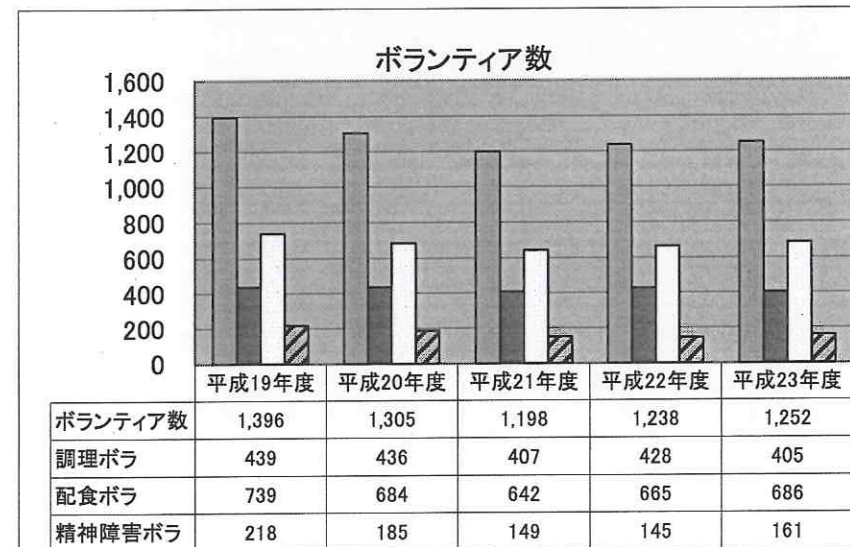
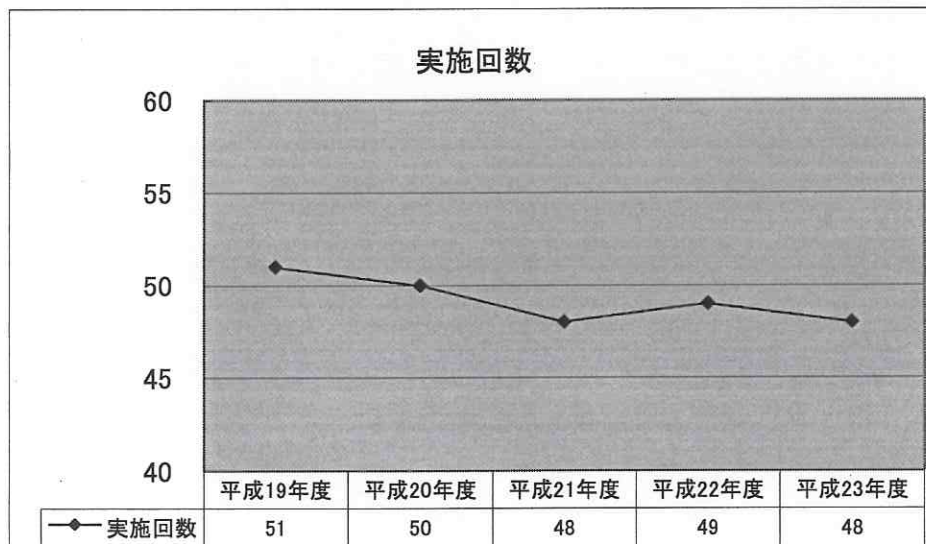
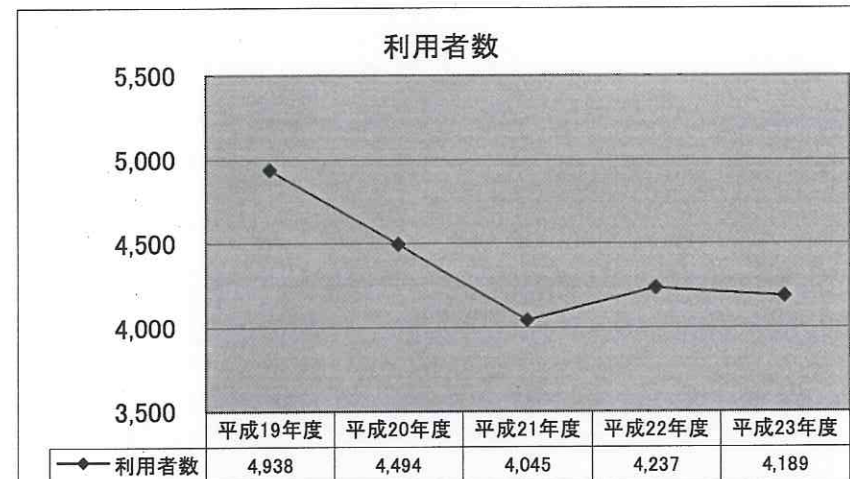
《市補助金 705,000円 共同募金配分金 1,181,689円 利用者負担額 1,047,250円 決算額 2,933,939円》

75歳以上の在宅の一人暮らしの高齢者や重度の障害者世帯に対し、毎週水曜日にボランティアの協力を得て、安否確認を目的に配食サービスを実施。

連絡無しに留守をする利用者の場合、何度か訪問してそれでも留守なら弁当は処分してもらい、ボランティアが立て替えていた料金は次回の当番時に返金していたが、運営委員会で協議し、その弁当はボランティアに買ってもらうようになった。(弁当を返しに来た場合は返金)

運営委員会:6月10日実施

9

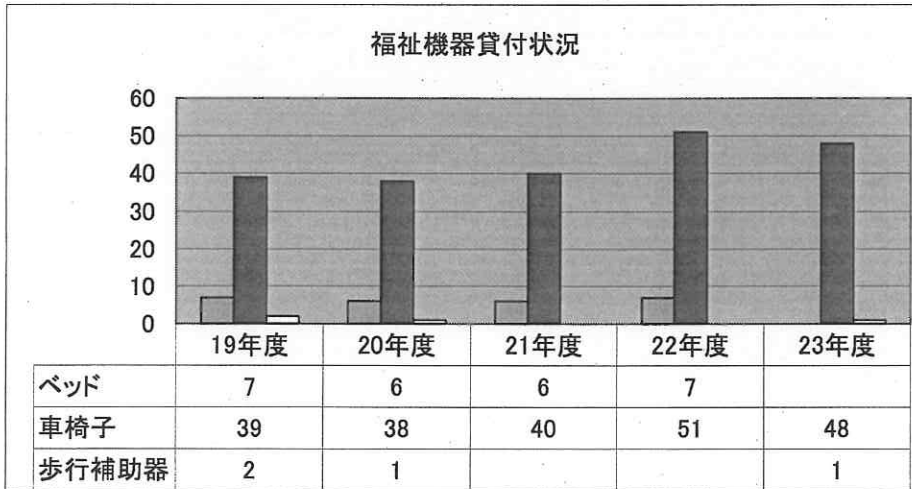


①地域福祉の推進

福祉機器貸付事業

身体機能の低下した障害者や高齢者等の生活支援の為、介護用ベッドや車椅子等を一定期間無料で貸し出し、日常生活の利便を図り、生活の質の向上と併せて介護者の負担減に務めた。今年度はベッドを借りる人がいなかった。

福祉機器貸付状況

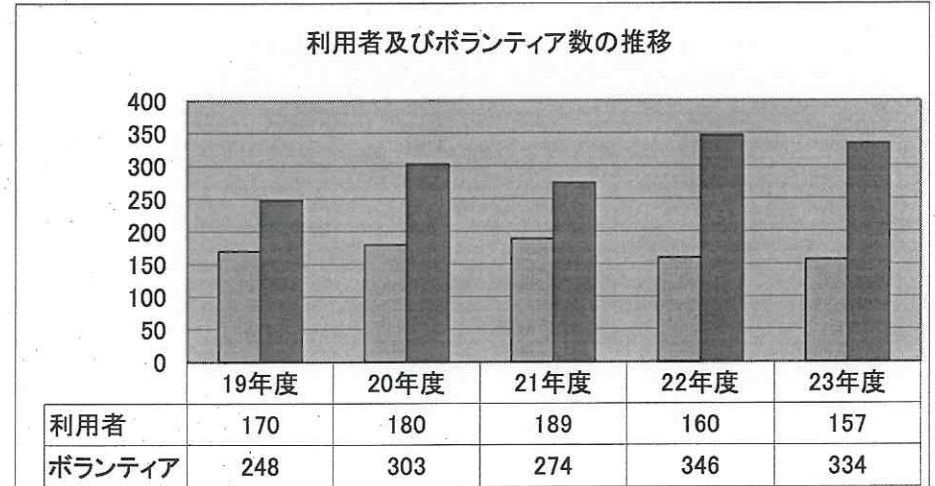


朗読サービス事業(法人運営経理区分)

《 共同募金配分金事業決算額 34,600円 》

朗読ボランティアの協力により、情報不足になりがちな視覚に障害のある方達等に、毎月市広報・社協だよりをテープに録音して送付し、日常生活に必要な情報の共有化を図った。

利用者及びボランティア数の推移



②総合的な相談・援助活動の推進

ふれあい相談センター事業（法人運営経理区分）

《 市補助金決算額 389,000円 》

一般相談	毎週 月～金曜日	午前 8 時30分～午後 5 時15分実施	(四万十市社会福祉センター 本所)
法律相談	月/2回 第1・3水曜日	午後 1 時30分～午後 3 時30分実施	(四万十市社会福祉センター 本所)
支所相談	毎週 月～金曜日	午前 8 時30分～午後 5 時15分実施	(四万十市総合福祉センター 支所)

前年度に比べ相談件数は若干増えたものの、解決に至ったケースは相談件数の半分以上となる。今年度は相談者の自宅に訪問し他の機関につなぐ等の対応を行った。

項目別相談件数推移

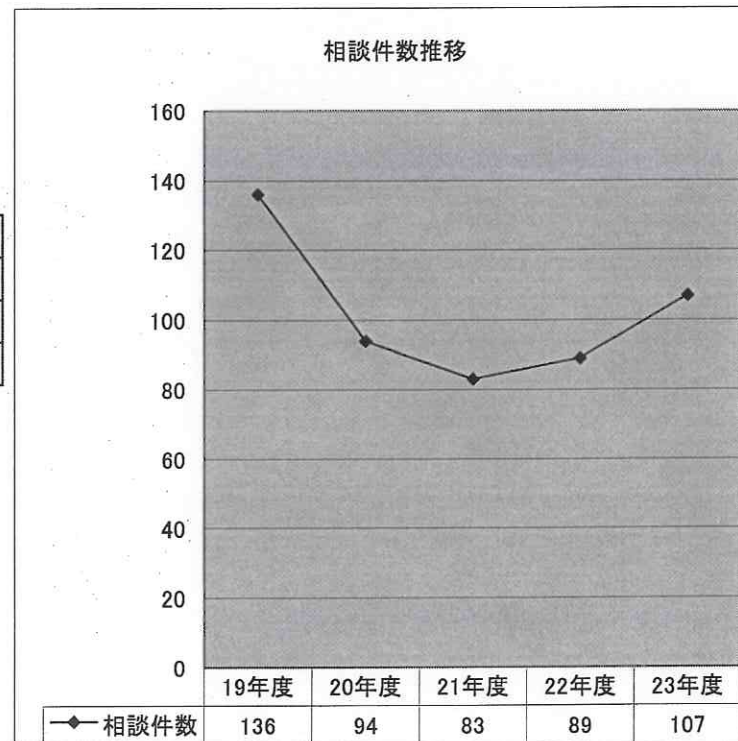
19年度			20年度			21年度			22年度		
1	金銭問題	26	1	金銭問題	19	1	金銭問題	16	1	生活問題	24
2	財産問題	15	2	財産問題	15	2	人権問題	9	2	金銭問題	9
3	家族問題	11	3	家族問題	10	3	家族問題	9	3	医療問題	6

23年度

1	生活問題	21
2	家族問題	13
3	精神・衛生問題	12

* 法律相談 件数 63件

相談件数推移



②総合的な相談・援助活動の推進

小口生活資金貸付事業(小口資金貸付事業経理区分)

《 小口資金貸付事業決算額 200,000円 》

低所得者等に対し、短期の生活資金の貸付と相談援助を行うことにより、生活の安定を図ることができるように努めた。

年2回の督促と併せて、長期滞納者に対する個別の償還指導を行った結果、元金の償還に応じ連帯利息のみとなったケースがある。また、生活困窮者が増加しており、生活保護の繋ぎとしてほとんどのケースを生活福祉資金の緊急小口制度で対応した。

※ 資産の状況 (平成24年3月31日)

・預金残高 6,822,077円

※ 貸付等の状況

・貸付額 1,405,000円(11件)

・貸付残額 143,000円

・相談件数 25件

・貸付件数 2件

・償還終了件数 6件

・延滞利息免除件数 1件(69,929円)

生活福祉資金貸付事業(生活福祉資金貸付事業経理区分)

《 県社協受託事業決算額 3,278,729円 》

低所得者等に対し資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより経済的自立、生活意欲の助長促進並びに社会参加の促進を図り安定した生活を送れるようにすることを目的としている。相談件数は昨年度に比べ増大したが、貸付条件等により申請まで至らないケースがほとんどで申請に至ったケースは相談件数の約1割であった。申請のほとんどは、緊急小口資金であった。

【平成23年度貸付等の状況】

・問合せ、相談件数 219 件

申請件数・・・22件(合計3,810,000円)

貸付件数・・・22件(合計3,810,000円)

(内訳)

教育支援資金	1件	2,535,000円
緊急小口特例資金	1件	100,000円
緊急小口資金	19件	1,090,000円
転宅費	1件	85,000円

6

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	前年度との比較 H22-H23
貸付総件数	11	16	19	19	11	-8
貸付総額	1,555,000	2,035,000	2,265,000	2,255,000	1,405,000	-850,000
当年度貸付件数	3	7	8	6	2	-4
当年度貸付額	250,000	630,000	730,000	550,000	200,000	-350,000
償還完了件数	2	5	6	10	6	-4
債権放棄件数	—	—	—	—	—	—
償還済額	867,000	1,496,000	1,553,000	1,923,385	1,263,831	-659,554
当年度償還額	441,000	779,000	557,000	984,385	439,831	-544,554
内(延利収入)	—	—	54,000	49,385	1,831	-47,554
年度末貸付元金額	1,405,000	1,535,000	1,705,000	1,205,000	705,000	-500,000
年度末貸付件数	9	11	13	9	5	-4
未償還額	688,000	539,000	766,000	381,000	143,000	-238,000
延滞利息額	484,685	535,039	369,473	349,839	291,331	-58,508
年度末残額(滞納含む)	1,182,685	1,074,039	1,135,473	730,839	434,331	-296,508

②総合的な相談・援助活動の推進

福祉人材バンク事業（福祉人材バンク経理区分）

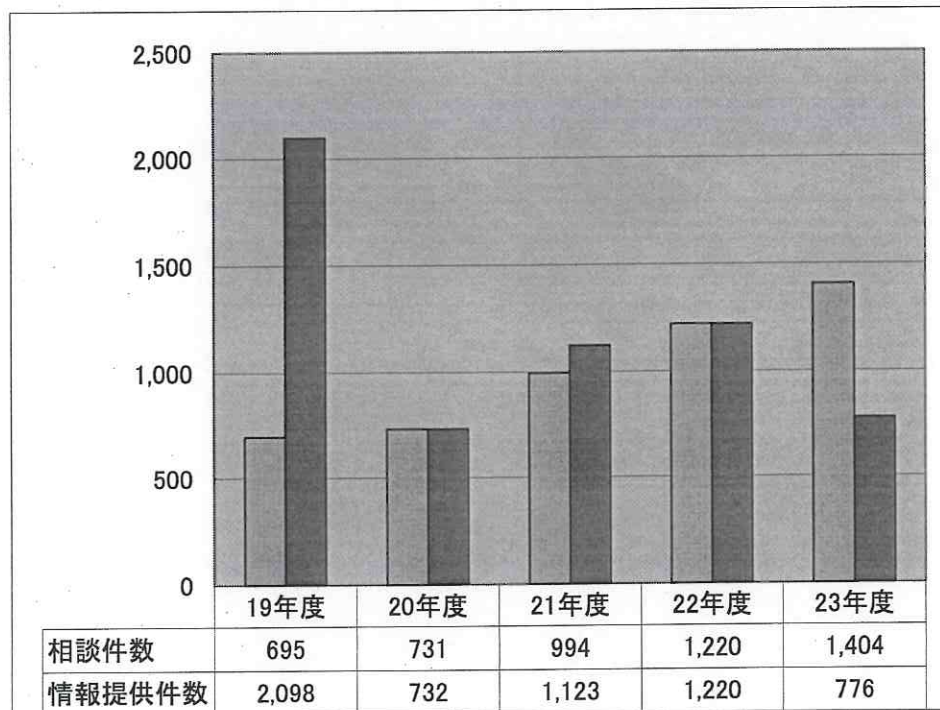
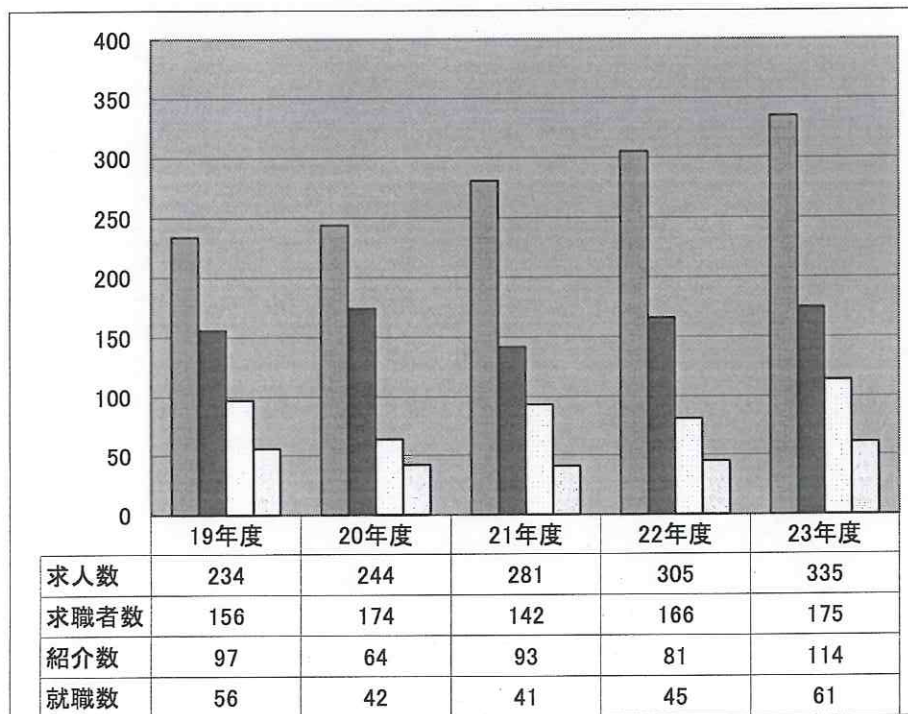
〈職員1名〉

《 県社協受託金 3,762,000円 市補助金収入 1,707,000円 雑収入 852,187円 経理区分間繰入金収入 44,000円 決算額 6,365,187円 》

幡多6市町村を管轄区域として、人材バンク登録者を求人に応じて福祉の職場へと繋いだ。地理的な利便性を考慮し宿毛市・土佐清水市・黒潮町へ年間9回の移動相談を実施した。移動相談日に合わせて施設・事業所へ求人の開拓及び紹介者定着のためのフォローを目的に訪問した。四万十市においては平日常時窓口での相談受付と、毎月第4日曜日に日曜日相談も開催し登録者の確保と、求人情報の提供を行った。県福祉人材センター、安芸市福祉人材バンクと合同でふくし就職フェアを8月・11月・1月に開催したが、全体的に学生の参加者が少なかった。資格取得方法の相談や問い合わせには講習先の情報等の提供を行い、また、福祉人材養成事業としてスキルアップを目的に資格取得支援として各模擬試験と受験対策講座を開催した。

【福祉人材養成事業】介護福祉士模擬試験開催 2回 57名受験 介護支援専門員模擬試験開催 1回 35名受験
介護支援専門員受験対策講座 2回 延べ52名受講

【啓発広報事業】社協だより掲載（3市） 行政広報掲載（2市1町） 就職情報誌『週刊ザウルス』掲載 2回 週刊ジョブ高知 2回
【求人情報】 延べ294事業所 【求職移動相談】 21回 参加者36名 【運営委員会開催】 1回



②総合的な相談・援助活動の推進

福祉介護人材マッチング支援事業（福祉人材バンク経理区分）

〈職員1名兼務〉

《 県社協受託金 2,931,400円 市補助金収入 2,843,000円 雑収入 50,000円 決算額 5,824,400円 》

福祉介護人材マッチング支援事業は、個々の求職者に相応しい職場を開拓するとともに、働きやすい職場づくりに向けた助言を行い円滑な就労、定着を目指す事業で22年度、23年度の限定事業である。幡多管内の施設、病院、学校等を訪問し求人の依頼や職場体験の受け入れなどの協力依頼をする。

職場体験事業では、8名中3名が福祉職場に就職したが、幡多福祉人材バンクからの紹介者に会いにいても休日等で会える人が少なかった。この事業は、来年度引き続き実施されることとなり名称は「福祉・会議人材マッチング機能強化事業」に変更され、学校との連携をとるなどして介護人材の参入を図るようにしたい。

福祉介護人材マッチング事業は、平成23年度で終了予定であったが、福祉人材確保のため、平成24年度も実施されることとなった。

	平成22年度	平成23年度	備考
施設訪問件数(件)	113	47	
訪問日数(日)	35	13	
セミナー開催(回)	12	12	
参加人数(人)	105	146	
福祉職場体験者(人)	12	8	
申込者(人)	14	10	
複数事業所連携事業 (ユニット数)	2	1	1ユニット=5事業所

②総合的な相談・援助活動の推進

地域福祉権利擁護事業

(地域福祉権利擁護事業経理区分)

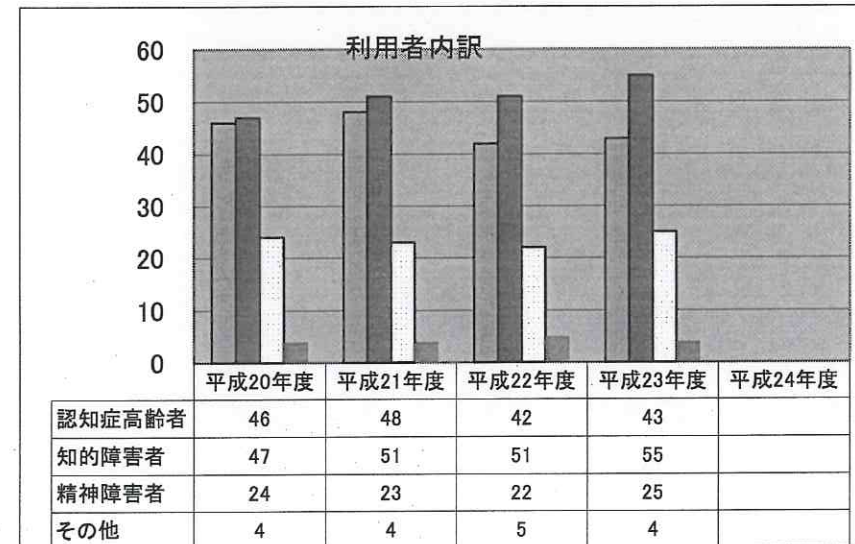
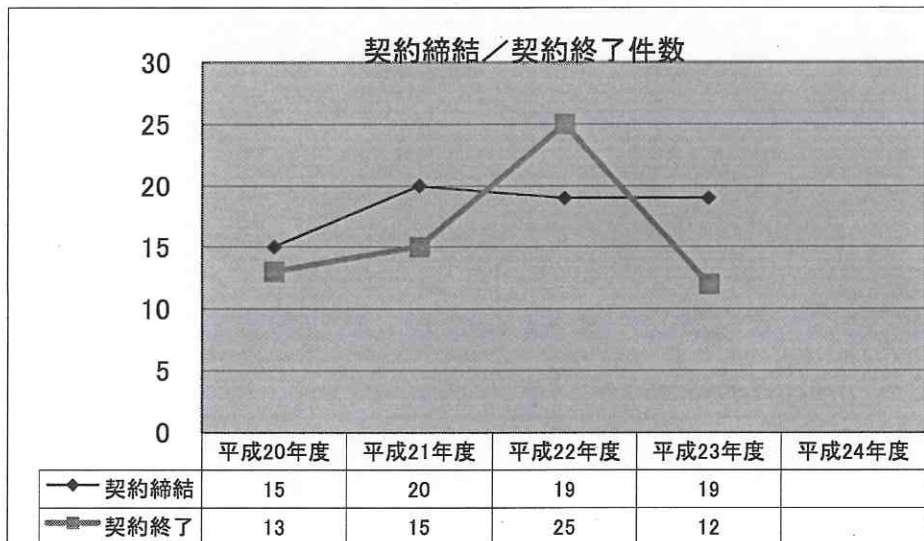
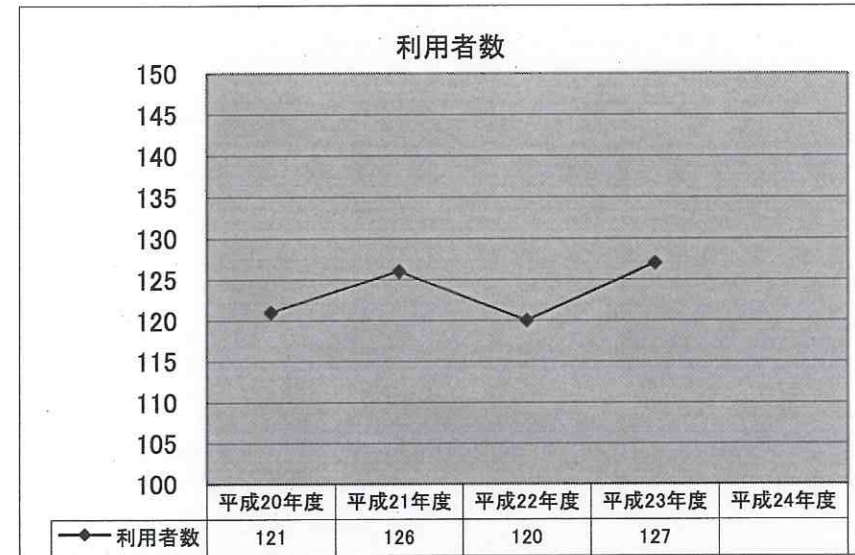
<職員2名>

《 県社協受託金 9,884,000円 利用料 959,500円 経理区分間繰入金 2,613,000円 決算額 13,456,500円 》

福祉サービスの利用や金銭管理など日常生活に必要なことについて、自分一人で判断することが難しくなっている高齢者や障害者の方が、安心・安定した生活が送れるよう幡多地域の基幹的社協として支援する。

専門員2名、生活支援員33名(四万十市7名、宿毛市8名、土佐清水市10名、大月町4名、黒潮町4名、三原村0名)体制にて実施。

- ・ 新規契約件数 19名
- ・ 契約終了者数 12名
- ・ 年度末利用者数 127名



③ボランティアセンターの充実と福祉教育の推進

ボランティアセンター事業(法人運営経理区分)

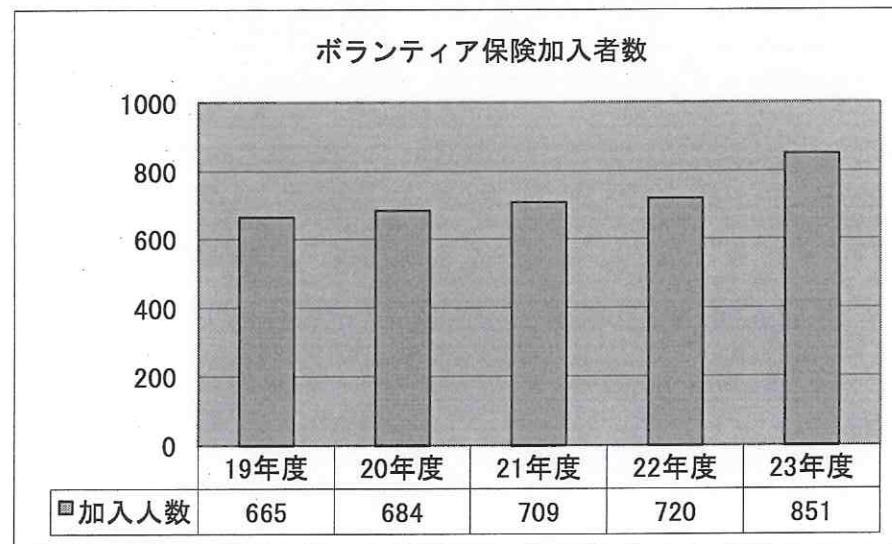
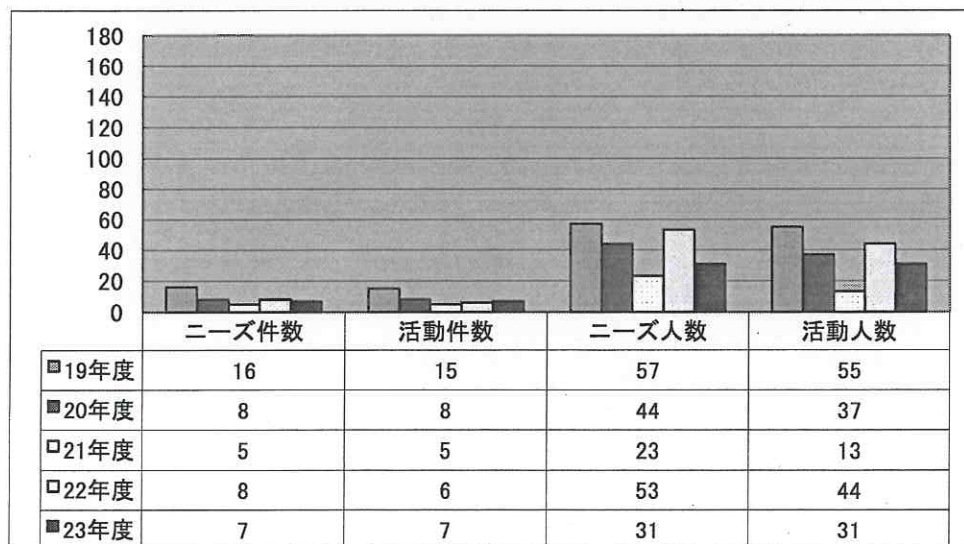
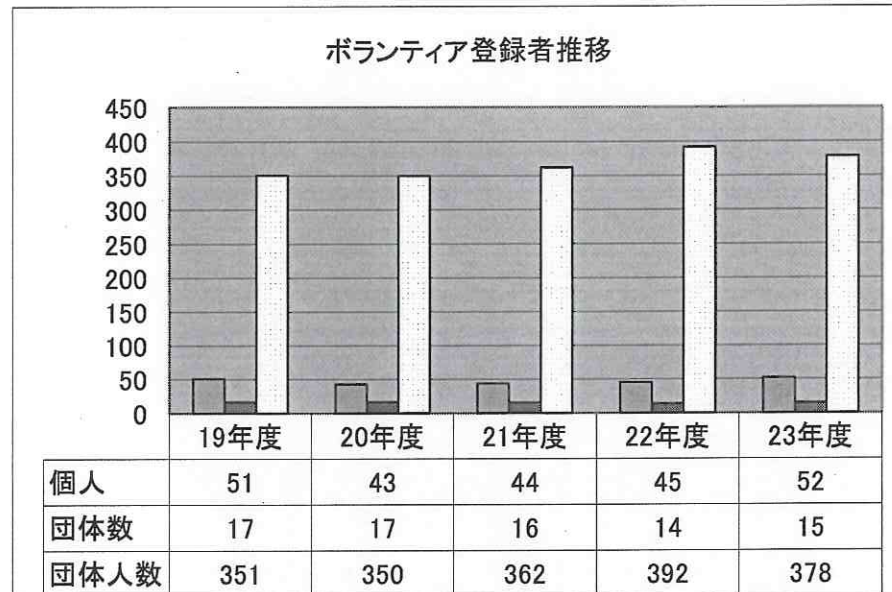
《 市補助金収入 6,240,000円 会費収入 100,000円 その他の受託金収入 266,306円 経理区分間繰入金収入 150,000円 雑収入 42,761円 決算額 6,799,067円 》〈職員1名〉

今年度は、震災の復興支援として高知県社協の要請を受け、東日本大震災で甚大な被害を受けた宮城県東松島市へ災害ボランティアセンターの運営支援で職員3名を派遣した。災害ボランティアセンターの支援、また避難所や仮設住宅の調査等、来たる南海大地震に備え再確認できたことは良かったが、運営等の難しさを痛感した。

昨年度より続いている手話通訳者を目指す為の手話奉仕員養成講座の基礎課程を実施し、受講者21名が熱心に受講した。その結果18名が修了証を手にし、次の段階である基本課程を受けるための試験へ進むこととなった。

また、ボランティア研修会として傾聴に関する講演会を実施し、関係機関をはじめ一般の参加者併せて計54名が、傾聴の意味と意義について学習した。

- ・宮城県東松島市災害ボランティアセンター運営支援
H23/4/3~4/9 1名、5/4~5/12 1名、6/6~6/14 1名
- ・手話奉仕員養成講座(基礎課程)
H23/5/10~H23/10/11(全21回42時間)
- ・ボランティア研修会「傾聴に関する講演会」H23/11/5



※配食サービス・朗読サークルボランティアは除く

③ボランティアセンターの充実と福祉教育の推進

福祉教育の推進(共同募金配分金・福祉基金運営経理区分)

《 福祉推進校助成金決算額 210,000円 》

市内の各学校からの依頼に基づき各種体験学習を通して福祉教育に携わる機会が多くなる中、打合せ時に事後学習について担任より聞き取り、今後子どもたちをどのように導くのか方向性について聞き出すことができた。

さらに、学校と地域との結びつきの深い事業に対し、助成交付要綱に基づき7校への事業助成を行うとともに事業見学も実施し、児童生徒及び教職員との交流を深めることができた。

平成23年度助成校(7校)

西ヶ方小・下田小・後川中・下田中・大川筋中・八束中・中筋中

学校名	車椅子体験学習等				備考
	実施日	内容	学年	人数	
☆下田中学校	H23.4.20	高齢者疑似体験 車椅子体験	1年	22名	
☆八束中学校	H23.7.6	高齢者疑似体験 車椅子体験	全学年	38名	
☆後川中学校	H24.1.27	車椅子体験	1年	9名	
	H24.3.1	高齢者疑似体験			
口屋内小学校	H23.5.10	高齢者疑似体験	全学年	6名	
	H23.6.14	東日本大震災の話			
竹島小学校	H23.5.27	福祉センター見学 車椅子体験	3年	10名	
	H23.6.10	高齢者疑似体験	5~6年	20名	
利岡小学校	H23.5.31	高齢者疑似体験 車椅子体験	3~4年	13名	
東中筋中学校	H23.6.28	高齢者疑似体験 車椅子体験	全学年	38名	
川崎小学校	H23.9.29	高齢者疑似体験	6年	17名	
具同小学校	H23.10.6	高齢者疑似体験 車椅子体験	4年	76名	
	H23.12.19	手話体験			
田野川小学校	H23.12.9	高齢者疑似体験 車椅子体験	5~6年	8名	
大用小学校	H23.12.21	車椅子体験	3~6年	30名	
東山小学校	H24.2.7	高齢者疑似体験	4年	50名	
中村南小学校	H24.2.14	車椅子体験	3年	46名	
	H24.2.20	福祉センター見学			
計				383名	

☆ 23年度助成校

④介護保険事業等在宅福祉サービスの充実

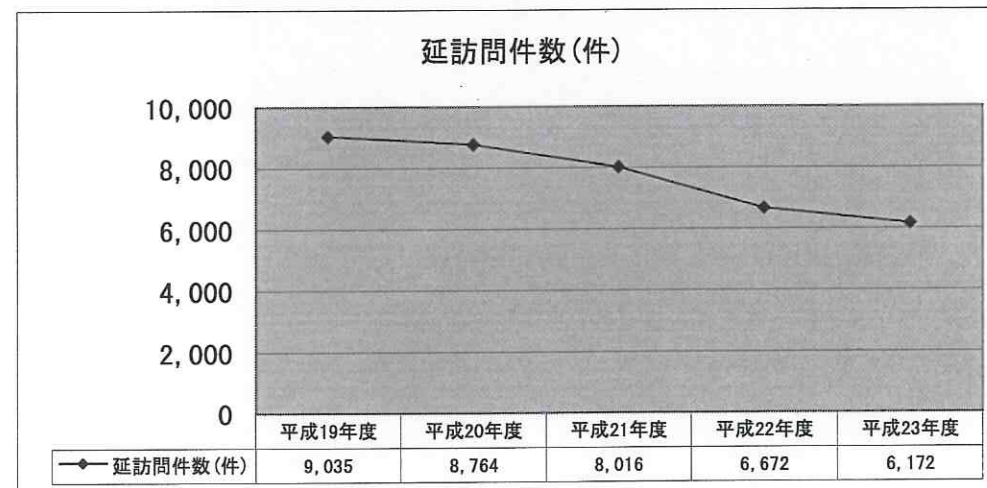
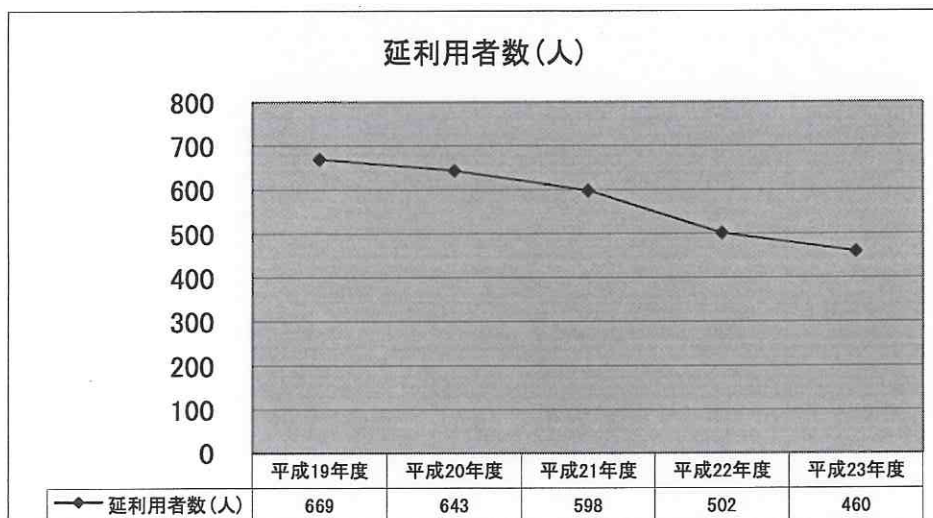
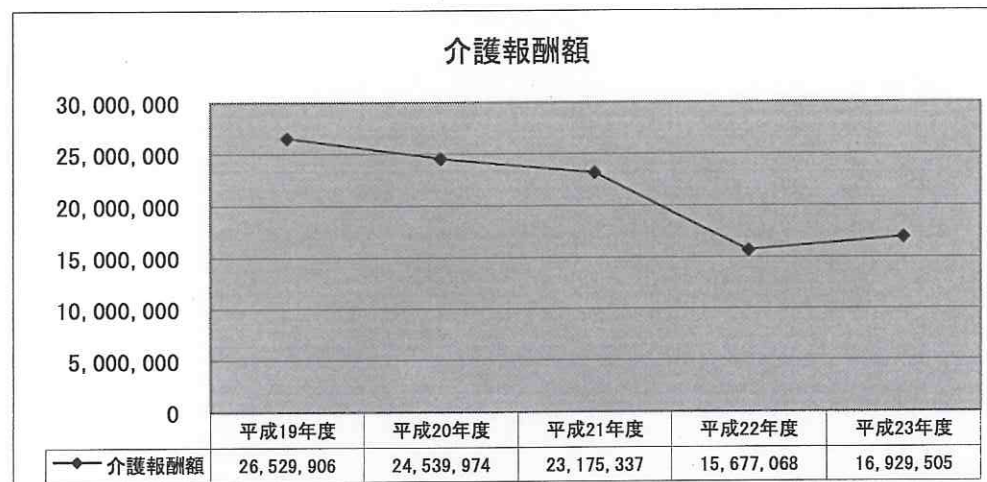
指定訪問介護事業（居宅介護等事業経理区分）

〈職員1名 契約2名 パート11名 障害者居宅介護等事業・日常援護サービス事業との兼務者有〉

《介護報酬 16,929,505円 事業収入 31,840円 受取利息配当金 21,658円 経理区分間繰入金 2,260,000円 前期繰越金 1,056円 決算額 19,244,059円》

要介護者や要支援者に対してケアマネによるサービス計画の下、入浴、排泄、食事等の介助その他日常生活上のサービス援助を行う。

新規契約の方が、介護給付7名、予防給付11名、計18名いたが、施設入所、入院、亡くなられた方がいて利用者数は、若干減少している。反面報酬の高い身体介護が少し増えてことにより、収入は増加となっている。



④介護保険事業等在宅福祉サービスの充実
訪問入浴事業(居宅介護等事業経理区分)

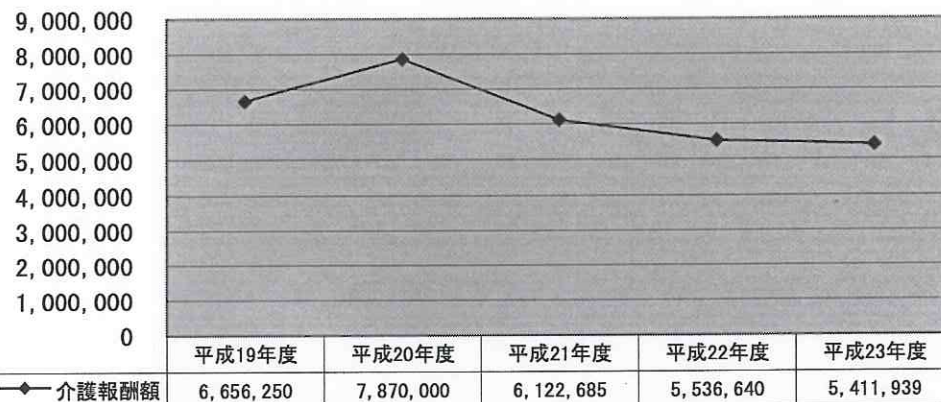
<職員1名 パート2名>

《介護報酬 5,377,456円 経理区分間繰入金収入 1,846,000円 施設整備等 寄付金収入4,787,000円 決算額 12,010,456円》

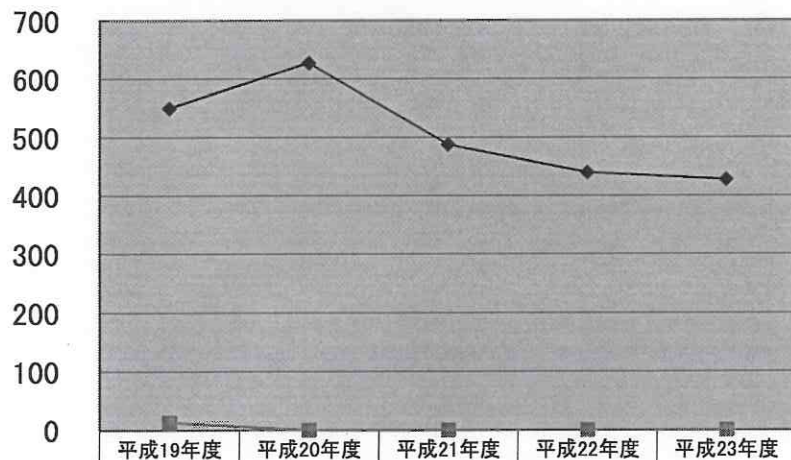
介護保険等の認定を受けた寝たきりの方等に対し、入浴サービスを提供し、利用者のみだけではなく在宅介護されている家族への配慮等も行い、介護負担が軽減するようなコミュニケーションやサービスの提供にも努めた。

登録者の変動はあまりないが、利用者の入退院等が多くみられ、前年度より収入が減少した。冬期は寒さが厳しく、急変し入院される方やターミナルの方が、前年度より多く、厳しい状況であった。また、懸念されていた老朽化した入浴車両については、今年度24時間テレビチャリティー委員会よりを寄贈していただき今年2月から稼働している。

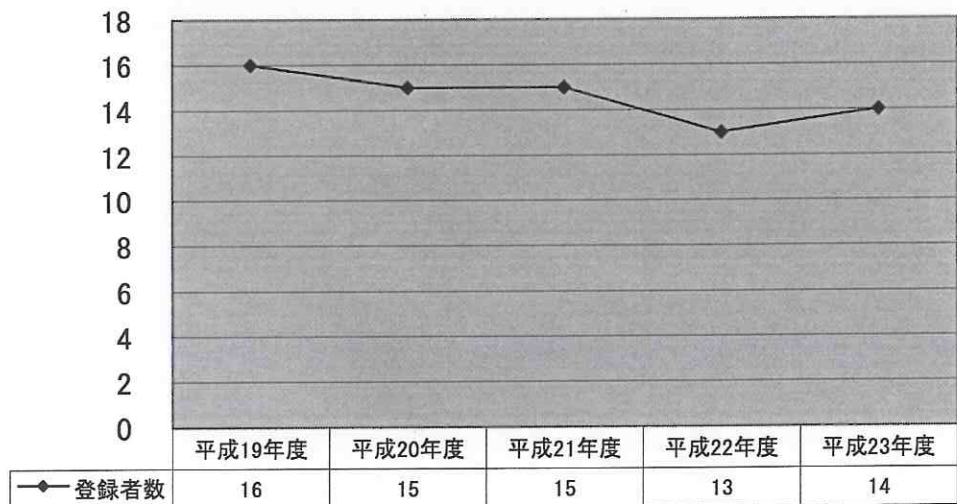
介護報酬額



延利用者数



登録者数



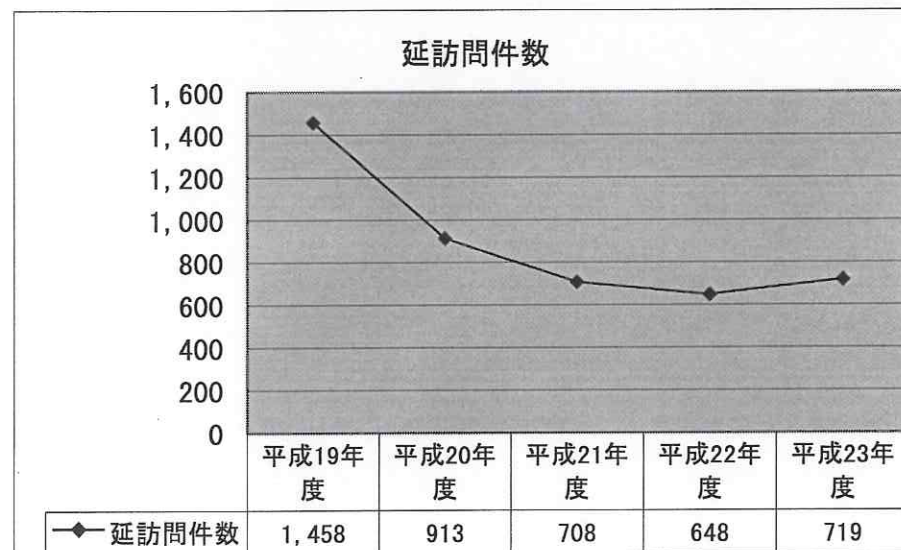
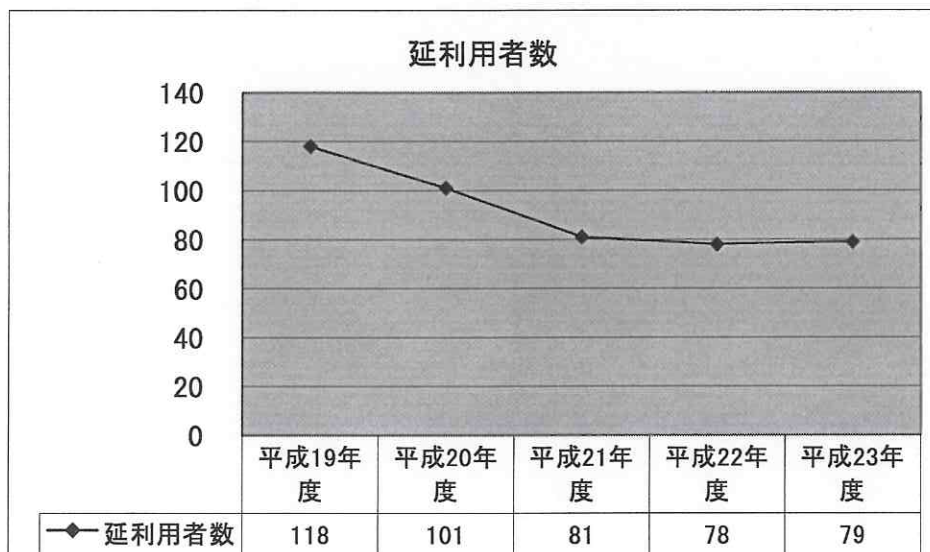
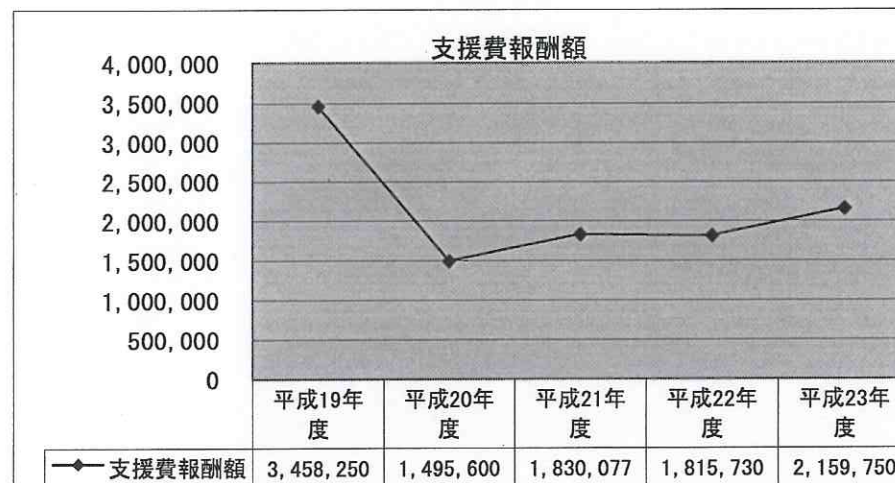
④介護保険事業等在宅福祉サービスの充実

障害者居宅介護等事業(居宅介護等事業経理区分)

〈職員1名 契約2名 パート11名 訪問介護事業・日常援護サービス事業との兼務者有〉
 《介護報酬 1,062,477円 自立支援費報酬 2,159,750円 決算額 3,222,227円》

障害者自立支援法に基づき、居宅支援の決定を受けた利用者に対し、入浴、排泄、食事の介護、調理、掃除等の家事、生活等に関する相談及び助言、外出介助、その他生活全般にわたる生活支援を行っている。

今年度は、入所や入院等があったが、新規契約が4名あった為と、毎日型の利用者が増えた為、前年度より若干収入増となっている。



④介護保険事業等在宅福祉サービスの充実

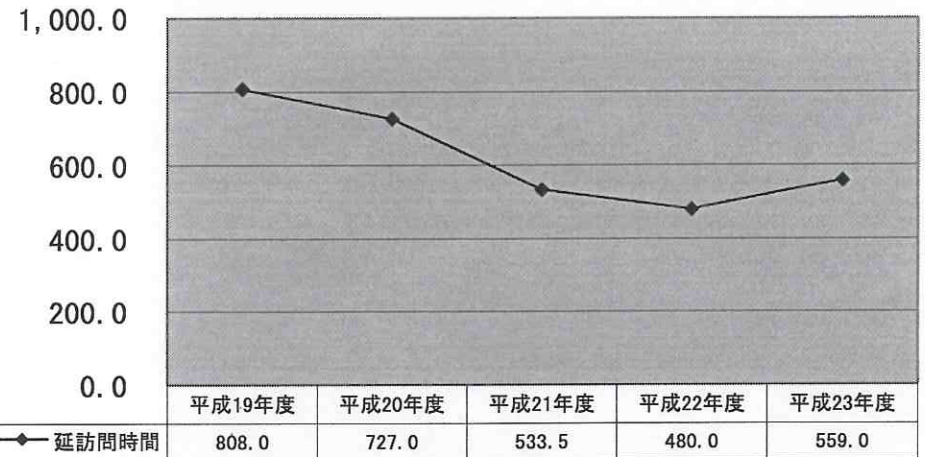
日常援護サービス事業(居宅介護等事業経理区分)

<職員1名 契約2名 パート11名 訪問介護事業・障害者居宅介護等事業との兼務者有>

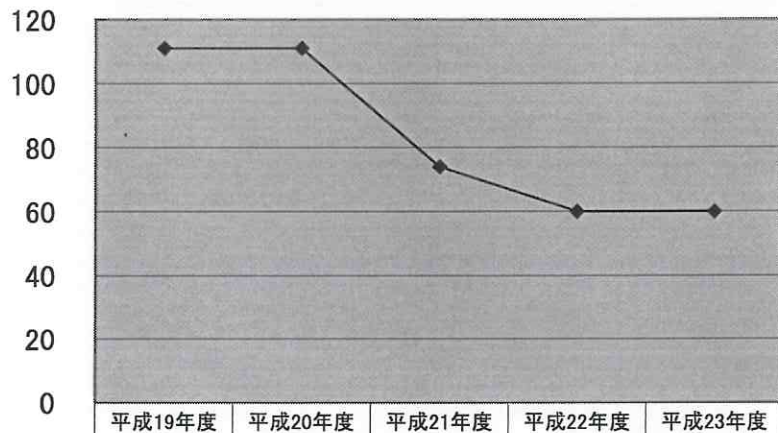
《市受託金決算額 1,229,800円》

要介護認定の結果、非該当になったが援助が必要な方に対して、市から委託を受けホームヘルパーを派遣し在宅生活を支えていくことを目的に、サービスの提供を行った。
延利用者数に変化はないが、訪問回数が増えた利用者がいた為、若干収入増となっている。

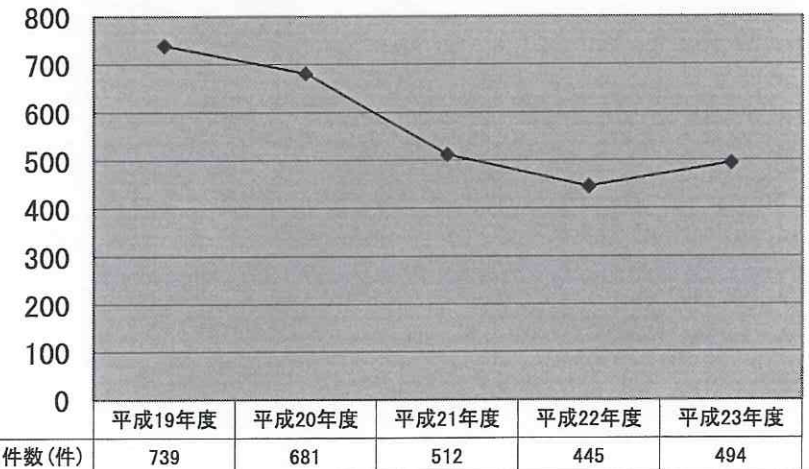
延訪問時間



延利用者数(人)



延訪問件数(件)



④介護保険事業等在宅福祉サービスの充実
2次予防高齢者筋力アップ事業(居宅介護等事業経理区分)

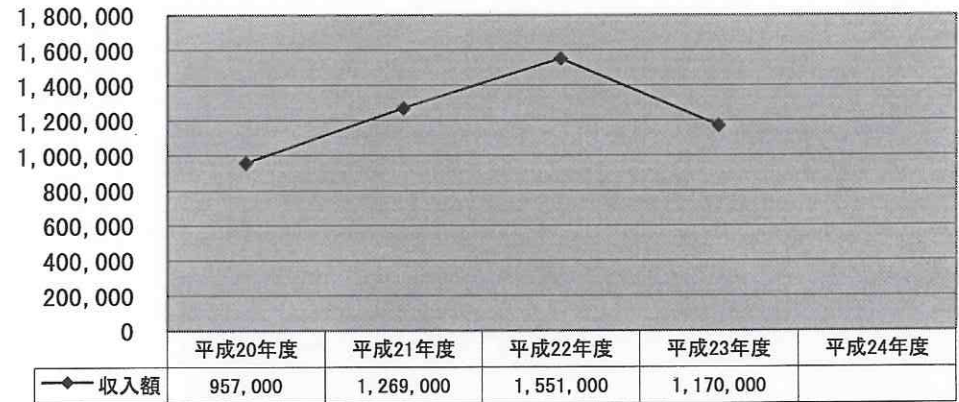
《市受託金決算額 1,170,000 円》

対象者は二次予防高齢者、一次予防高齢者と決定された方のうち、運動器の機能が低下した方、若しくはそのおそれがある方で運動器の機能向上をはかる事を目的とし、週に1回実施した。(12月からは、週2回(月・木))また、「筋力アップ体操」と合わせて口腔機能の向上に向けて「かみかみ百歳体操」・「レクリエーション」等も行った。

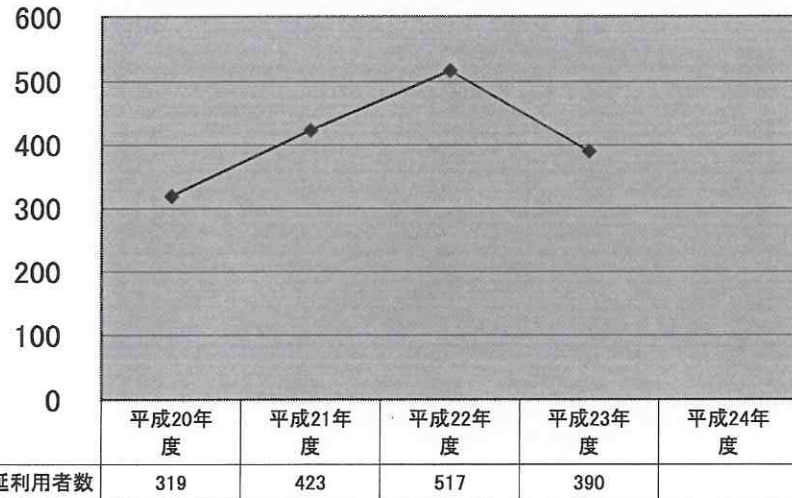
参加者からは「筋力が向上してきた、何事にもやる気がでてきたなど、終了しても継続して利用したい等の声」が多数聞かれた。今後、教室を終了した高齢者の継続的な筋力運動が必要なことから、次年度から行われる健康福祉委員会につなげることが出来ればと思う。

〈他業務と兼務 職員2名 パート3名〉

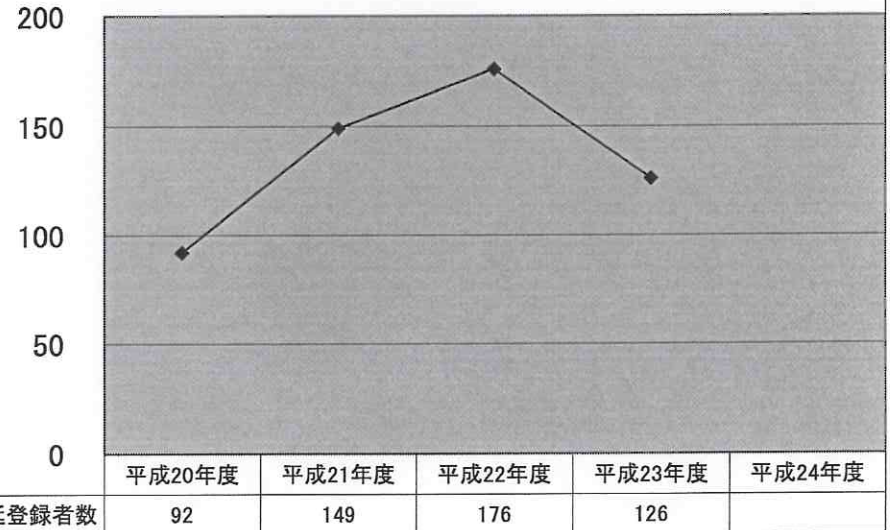
収入額



延利用者数



延登録者数



④介護保険事業等在宅福祉サービスの充実
訪問調査事業(居宅介護等事業経理区分)

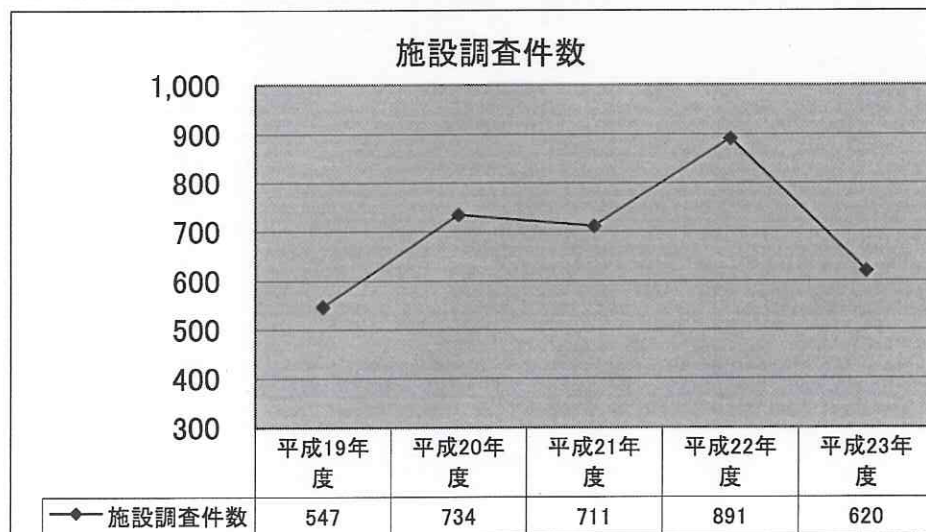
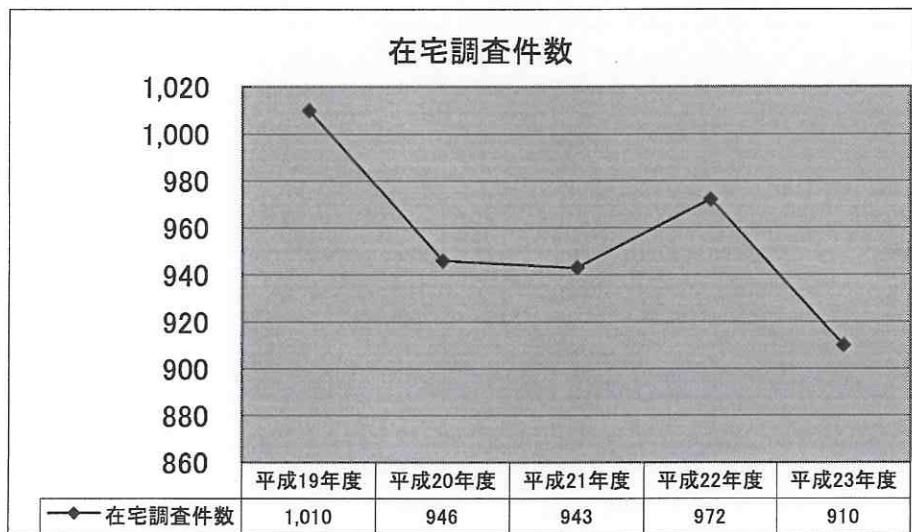
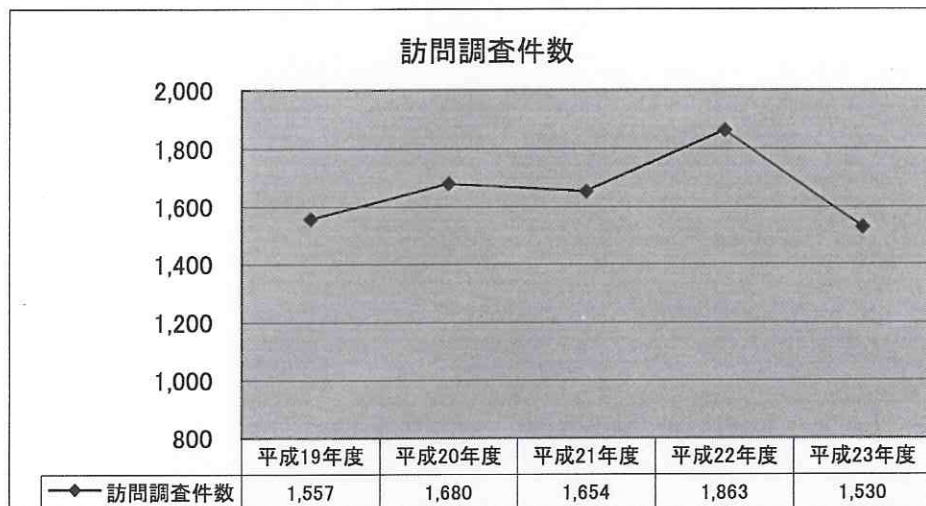
<職員2名>

《市受託金収入 8,032,500円 他市町村調査受託金収入 16,625円 経理区分間繰入金収入 4,084,000円
積立預金取崩収入 360,000円 前期繰越金 523,254円 決算額 13,016,380円》

市からの依頼を受け、被保険者宅や入院、入所先等に訪問し、面接及び介護者等からの聞き取り調査を行っている。

今年度より専属2名の職員体制で、対象者の都合に沿い日程調整等を行いながら、職員同士が場面を振り返り次回に生かせるよう助言や情報の共有を図った。

尚、新規申請と区分変更申請については市が実施することとなり、前年度より調査件数は減少している。



④介護保険事業等在宅福祉サービスの充実

高齢者はつつデイサービス事業（居宅介護等事業経理区分）

〈職員1名 臨時3名〉

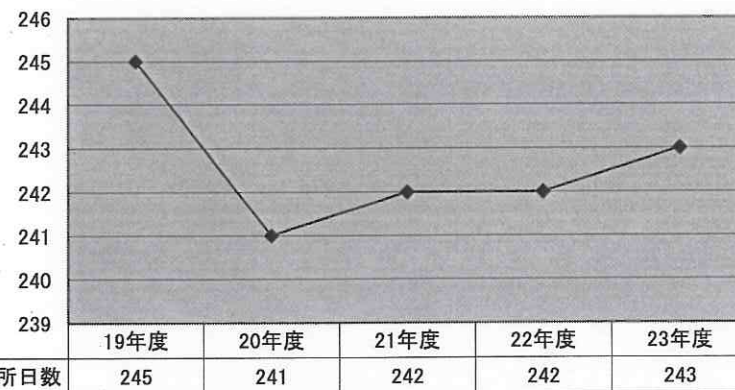
《市受託金 20,609,200円 利用料 2,223,600円 実習等収入 11,840円 前期繰越金 3,534,924円 決算額 26,379,564円》

介護保険非該当の利用者（75歳以上の高齢者又は65歳以上の独居高齢者）に対し、健康チェックや創作活動、レクリエーション、日常必需品買出などのサービスを提供し、高齢者が楽しく生きがいをもてるよう事業を実施。

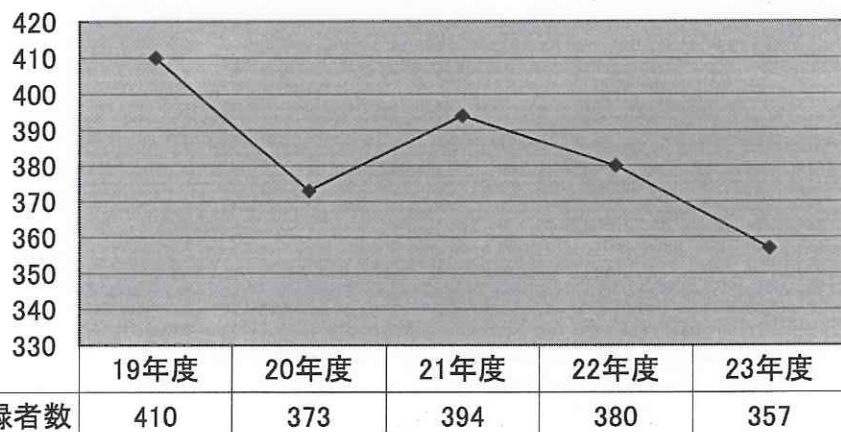
利用者の延人数は昨年より下まわったが、1日を楽しく過ごしてもらおうよう努め、「ここに来るのが楽しみ」「今日も楽しかった」等の声をたくさん聞くことができ、利用者に喜んでもらっている。

介護予防事業は、地区のふれあい等に参加している利用者も多く、体力測定においても測定数値が向上している利用者が見られた。

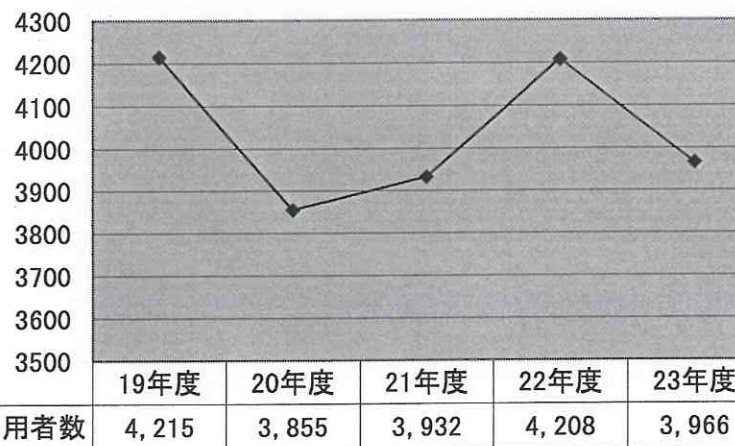
開所日数



登録者数



利用者数



④介護保険事業等在宅福祉サービスの充実

障害者支援センター事業

(障害者支援センター事業経理区分)

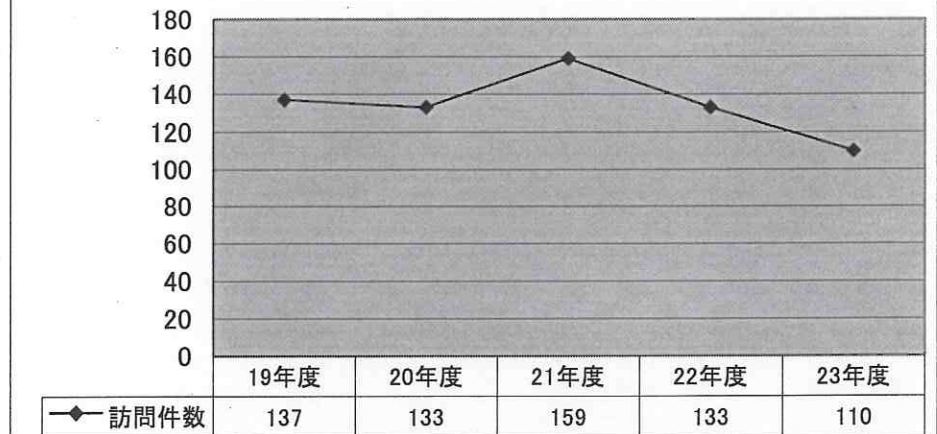
<職員1名>

《市受託金 5,785,452円 障害程度区分認定調査661,500円 決算額 6,446,952円》

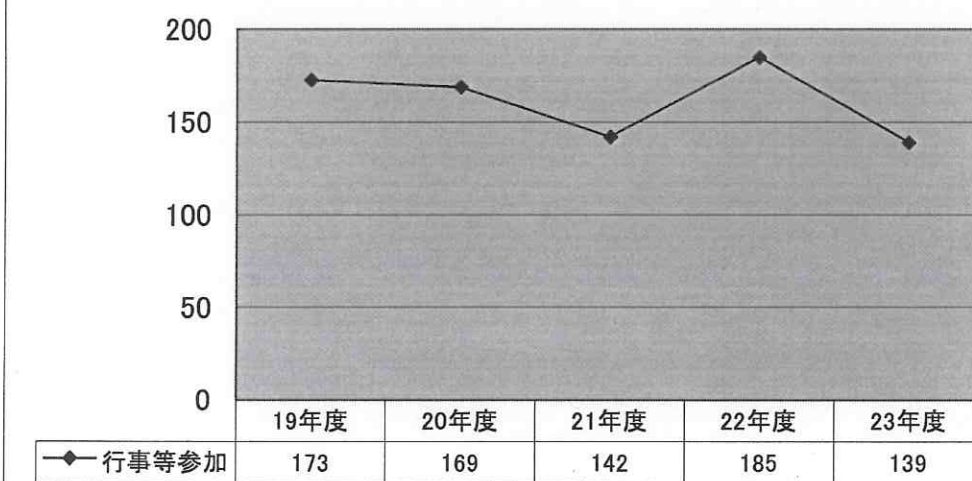
在宅の身体、知的、精神障害者宅を訪問し、生活相談に応じたり、関係機関と連絡調整を行う事業を実施。

障害者同士の交流ができるよう場を提供するとともに、障害者団体等に対し側面的な支援を行う。また、障害程度区分認定調査を適正に実施した。

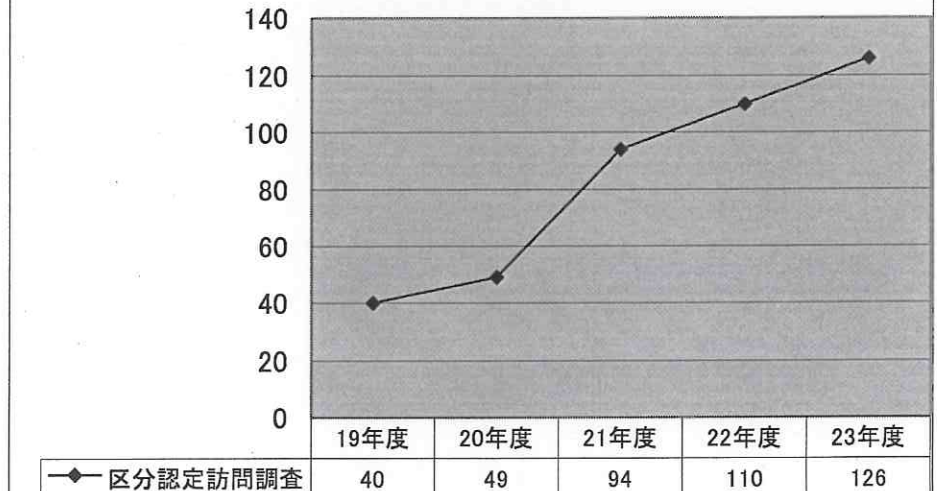
訪問件数



行事等参加



区分認定訪問調査



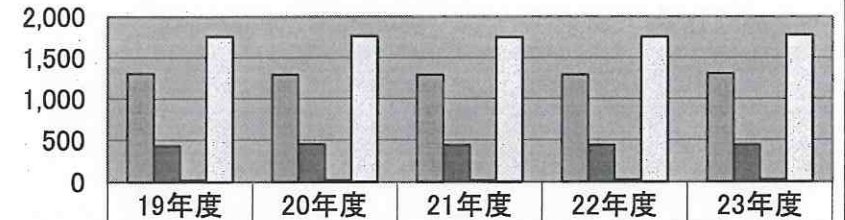
⑤住民参加による福祉のまちづくりの実現と組織の基盤整備
社協会員加入状況(法人運営経理区分)

《 会費収入額 1,239,000円 》

民生委員をはじめ関係者による協力、広報誌による呼びかけ等で会員の増強をはかるものの厳しい経済状況もあり実績額としては、前年度より若干の増額にとどまる。

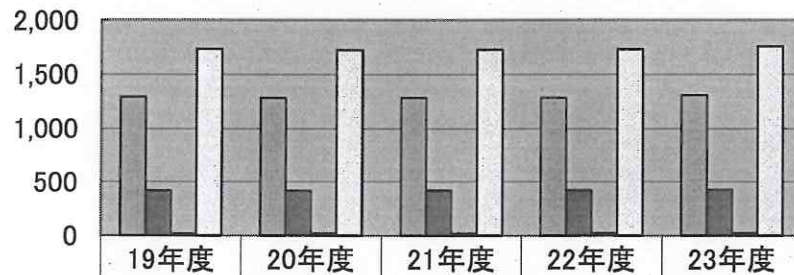
活動計画が策定されたこともあり、次年度については少しでも多くの会員を増やしていきたい。

会員口数推移



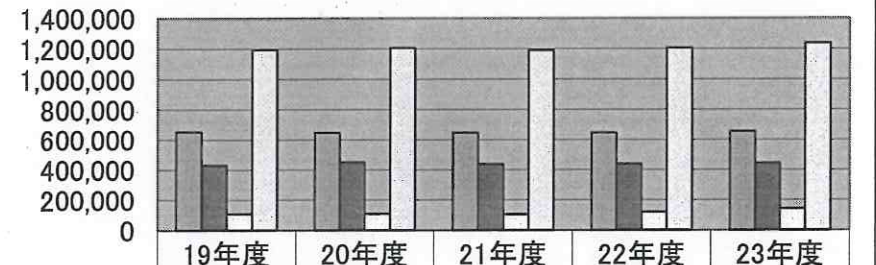
	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
普通会員	1,304	1,291	1,291	1,292	1,308
賛助会員	431	451	438	440	445
団体会員	22	22	21	24	28
合計(口)	1,757	1,764	1,750	1,756	1,781

会員数推移



	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
普通会員数	1,294	1,285	1,285	1,285	1,306
賛助会員数	424	420	423	426	429
団体会員数	19	21	21	23	25
合計(人)	1,737	1,726	1,729	1,734	1,760

会費収入額推移



	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
普通会員	652,000	645,500	645,500	646,000	654,000
賛助会員	431,000	451,000	438,000	440,000	445,000
団体会員	110,000	110,000	105,000	120,000	140,000
合計(円)	1,193,000	1,206,500	1,188,500	1,206,000	1,239,000

⑤住民参加による福祉のまちづくりの実現と組織の基盤整備

法人運営(法人運営・福祉基金運営経理区分)

《 会費収入 205,600円 市補助金収入 1,661,000円 寄附金収入 160,530円 決算額 2,027,130円 》

事業経営方針・事業予算に基づき、必要に応じて会議などを開催し、経営状況の把握や事業の見直し、本会が進むべき方向について検討し、安定かつ効果的な法人運営に努めた。今年度は役職員との視察研修を行った。

※以下が主な会議の状況である。

月	日	会議内容等	場所
4	13	【第1回理事会】理事10名・事務局2名 計12名 (1)会長・副会長の互選について	中村
	18	【監査】監事2名・会長・事務局3名 計6名 平成22年度事業・会計監査	〃
5		【第2回理事会】理事10名・監査1名・事務局6名 計17名(表決書提出理事1名) (1)平成22年度事業報告並びに一般会計決算について (2)平成22年度公益事業特別会計福祉センター決算について * 監査報告 (3)平成23年度一般会計第1次補正予算について	〃
	26	【第1回評議員会】評議員16名・理事2名・監事1名・事務局2名 計21名 (1)平成22年度事業報告並びに一般会計決算について (2)平成22年度公益事業特別会計福祉センター決算について * 監査報告 (3)平成23年度一般会計第1次補正予算について (4)情報公開審査委員の選出について	
6	30	【第3回理事会】理事9名・事務局5名 計14名 議事なし 協議事項 (1)介護保険事業等社協事業の状況について (2)今後の社協の方向性について	〃
8	31	【第4回理事会】理事10名・事務局6名 計16名 議事なし 協議事項 (1)今後の社協事業について (2)地区社協推進のあり方について	〃

月	日	会議内容等	場所
10	24	【第5回理事会】理事9名・事務局5名 計14名 (1)一般会計第2次補正予算について 協議事項 (1)今後の社協事業について	中村
12	22	【第6回理事会】理事9名・事務局6名 計15名(表決書提出1名) (1)補欠による評議員の同意について 協議事項 あり方検討委員会の提案を受けて (1)地区社協の考え方について (2)社協会費の考え方について (3)西土佐地域の事業の考え方について	〃
2	23	【役職員視察研修】理事8名・監事2名・事務局7名 計17名 場所:土佐町社会福祉協議会	土佐町
3	27	【第7回理事会】理事8名・監査1名・事務局6名 計15名(表決書提出2名) (1)第3次補正予算について (2)定款の一部改正について (3)平成24年度事業経営方針及び資金収支予算について (4)平成24年度公益事業特別会計福祉センター収支支予算について (5)補欠による評議員の同意について (6)介護保険事業等積立預金の取崩について (7)ヘルパー事業所運営規程の新設について (8)会員規程の一部改正について (9)相談支援事業所運営規程の改正について (10)訪問介護事業所運営規程の一部改正について (11)居宅介護事業所運営規程の一部改正について	中村
	28	【第2回評議員会】評議員17名・理事2名・事務局2名 計21名 (1)第3次補正予算について (2)定款の一部改正について (3)平成24年度事業経営方針及び資金収支予算について (4)平成24年度公益事業特別会計福祉センター収支支予算について	〃

平成23年度 社会福祉センター利用状況(免除)

月	大会議室			小会議室			老人憩いの室			研修室Ⅰ			研修室Ⅱ			小計			合計
	市	団体	社協	市	団体	社協	市	団体	社協	市	団体	社協	市	団体	社協	市	団体	社協	
4			6		8	6						4			7		8	23	31
5			5		7	5				1		4			9	1	7	23	31
6		4			6	9			1		3	1			8		13	19	32
7			4		5	2			1		4	1			9		9	17	26
8			1	1	4	4					2	1	1		12	2	6	18	26
9	1		1		4	6				11	5				17	12	9	24	45
10	3		3	3	6	4				3	4	2	1		8	10	10	17	37
11	4		10		4	9			6		4	9			9	4	8	43	55
12	2		3		4	4					3	2		1	4	2	8	13	23
1	2		3		4	5			1		3	3			3	2	7	15	24
2	1		5	2	4	4			3		4	3			7	3	8	22	33
3			1	1	5	4			1		5	3			10	1	10	19	30
合計	13	4	42	7	61	62			13	15	37	33	2	1	103	37	103	253	393

25

市 市・市教委・市教育研究所等
団体 行政相談・(幡多広域事務組合)・幡多郡民協・朗読の会虹・わかあゆ・補導センター
 ボランティア連絡協議会
社協 会議(社協・民協・役員会・職員会議・西部三市・ヘルパー・老人クラブ・身障連)・県社協幡多ブロック会長等意見交換会
 事業(地区社協・人材バンク・共募・手話養成・推進校・運動会・日赤)・母子支援センター
 ボランティア勉強会・法律相談・ふれあい相談

平成23年度 社会福祉センター利用状況

月	大会議室				小会議室				老人憩いの室				研修室Ⅰ				研修室Ⅱ				小計				利用合計	開館日	貸出可能数	利用割合					空き室割合	H22利用割合					空き室割合
	普通	減額	免除	営業	普通	減額	免除	営業	普通	減額	免除	営業	普通	減額	免除	営業	普通	減額	免除	営業	普通	減額	免除	営業				普通	減額	免除	営業	合計		普通	減額	免除	営業	合計	
4	1		6	1	3	3	14	3	23			5	2		4	1	1		7		30	3	31	10	74	30	450	6.7%	0.7%	6.9%	2.2%	16.4%	83.6%	4.9%	0.2%	6.7%	2.4%	14.2%	85.8%
5	4	2	5		4	1	12	3	17	1		5	2		5	4	3		9		30	4	31	12	77	31	465	6.5%	0.9%	6.7%	2.6%	16.6%	83.4%	6.7%	0.6%	6.5%	3.9%	17.6%	82.4%
6	8		4	2	7	1	15	2	24	1	1		14	1	4	7	8		8	2	61	3	32	13	109	30	450	13.6%	0.7%	7.1%	2.9%	24.2%	75.8%	7.3%	1.1%	6.0%	4.7%	19.1%	80.9%
7	11		4	1	5	1	7	4	16		1		6	1	5	1	1		9	2	39	2	26	8	75	31	465	8.4%	0.4%	5.6%	1.7%	16.1%	83.9%	7.5%	0.9%	6.2%	3.7%	18.3%	81.7%
8		2	1	1	4	1	9	7	15				1		3	1	1	1	13	1	21	4	26	10	61	31	465	4.5%	0.9%	5.6%	2.2%	13.1%	86.9%	3.2%	0.6%	8.2%	3.0%	15.1%	84.9%
9	1	7	2	11	5		10	2	20	1			2		16	4	1	1	17		29	9	45	17	100	30	450	6.4%	2.0%	10.0%	3.8%	22.2%	77.8%	6.4%	0.4%	9.6%	7.6%	24.0%	76.0%
10	4	9	6	3	8	4	13	3	18	8		8	5	5	9	4	3	4	9	3	38	30	37	21	126	31	465	8.2%	6.5%	8.0%	4.5%	27.1%	72.9%	4.1%		6.5%	1.1%	11.6%	88.4%
11		6	14	2	3	5	13	7	29		6		3	3	13	2		2	9	1	35	16	55	12	118	30	450	7.8%	3.6%	12.2%	2.7%	26.2%	73.8%	8.7%	0.4%	8.7%	5.8%	23.6%	76.4%
12	2		5		5	2	8	1	16				4	1	5	3	3		5		30	3	23	4	60	28	420	7.1%	0.7%	5.5%	1.0%	14.3%	85.7%	5.7%	1.2%	8.8%	4.5%	20.2%	79.8%
1		1	5	11	5	2	9	1	20		1		1		6	5			3	3	26	3	24	20	73	28	420	6.2%	0.7%	5.7%	4.8%	17.4%	82.6%	6.4%	0.7%	7.4%	4.5%	19.0%	81.0%
2	1	4	6		4	4	10		20	2	3	5	2		7	10	1		7	6	28	10	33	21	92	28	420	6.7%	2.4%	7.9%	5.0%	21.9%	78.1%	8.1%	1.2%	7.6%	5.0%	21.9%	78.1%
3	3	11	1	1	8	4	9	3	19	9	1	1	1	5	8	5	1	3	10		32	32	29	10	103	31	465	6.9%	6.9%	6.2%	2.2%	22.2%	77.8%	6.7%	7.3%	8.8%	3.0%	25.8%	74.2%
合計	35	42	59	33	61	28	129	36	237	22	13	24	43	16	85	47	23	11	106	18	399	119	392	158	1,068	359	5,385	7.4%	2.2%	7.3%	2.9%	19.8%	80.2%	6.3%	1.2%	7.6%	4.1%	19.2%	80.8%

7.4% 2.2% 7.3% 2.9% 19.8%

- 普通 教育、福祉関係の会議、組合会議、サークル活動(体操、踊り)、法律・就職相談、宗教団体、政治団体、観光協会、ダム協議会
- 減額 市内の福祉団体、県社会福祉協議会、県聴覚障害者協会、介護福祉士会、社会福祉士会
- 免除 市・市教委・市教育研究所等
ボランティア、福祉関係サークル、行政相談・朗読の会虹
- 会議(社協・民協・役員会・職員会議・西部三市・ヘルパー・老人クラブ・四万十市身障連)
事業(地区社協・人材バンク・共募・手話養成・推進校・運動会・日赤)
ボランティア勉強会・法律相談・行政相談・災害ボランティア情報交換会・母子家庭等就業自立支援センター
- 営業 学校説明会、呉服販売、営業会議、健康セミナー、民間資格養成講座

平成23年度 四万十市総合福祉センター利用実績

利 用 室	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
研 修 室	23	22	24	22	24	10	18	15	11	10	14	12	205
福祉事務室	21	17	22	8	0	0	0	0	0	0	0	0	68
相 談 室	10	3	7	5	4	2	1	2	4	9	2	3	52
和 室	2	1	0	1	1	1	0	2	0	0	0	1	9
合計	56	43	53	36	29	13	19	19	15	19	16	16	334